

救命救急医療学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Izumino H, Tajima G, Tasaki O, Inokuma T, Hatachi G, Takagi K, Miyazaki T, Matsumoto K, Tsuchiya T, Sato S, Nagayasu T: Balance of the prooxidant and antioxidant system is associated with mortality in critically ill patients.. *Journal of clinical biochemistry and nutrition* 72(2): 157-164, 2023. doi: 10.3164/jcbrn.22-79.
- 2 . Iguchi A, Aoki Y: Challenges in Demonstrating an Association Between Non-infectious Diarrhea and Urinary Tract Infections. *Pediatr Emerg Care* 39(1): 64, 2023. doi: 10.1097/PEC.0000000000002888. (IF: 1.6)
- 3 . Miyao M, Aoki Y, Mizushiro N, Kitazawa R, Nakamura C: Transient Loss of Consciousness Associated With Severe Hypocalcemia and QT Prolongation Due to Primary Hypoparathyroidism in an Adolescent Girl. *Cureus* 15(1): e34352, 2023. doi: 10.7759/cureus.34352. (IF: 1.1)
- 4 . MacVinish S, van Leeuwen C, Hoetjes M, Aoki Y, Foley D, Roggeveen H: Lessons identified from initiating a thalassaemia programme in a conflict setting: a case study from northeast Syria. *Confl Health* 17(1): 5, 2023. doi: 10.1186/s13031-023-00503-2. (IF: 3.1)
- 5 . Hijioka T, Aoki Y, Moteki H, Mizushiro N: Bell's palsy with abnormal findings in the ipsilateral parotid gland. *Acta Otolaryngol Case Rep* 8(1): 35-37, 2023. doi: 10.1080/23772484.2023.2176858. (IF: 0.3)
- 6 . Aoki Y, Yoshimura K, Sakai A, Tachikawa A, Tsukamoto Y, Takahashi K, Yamano S, Smith C, Hayakawa K, Tasaki O, Ariyoshi K, Warrell DA: Exotic (non-native) snakebite envenomation in Japan: A review of the literature between 2000 and 2022. *Toxicon* 232: 107226, 2023. doi: 10.1016/j.toxicon.2023.107226. (IF: 2.6)
- 7 . Hatachi T, Hashizume T, Taniguchi M, Inata Y, Aoki Y, Kawamura A, Takeuchi M: Machine Learning-Based Prediction of Hospital Admission Among Children in an Emergency Care Center. *Pediatr Emerg Care* 392: 80-86, 2023. doi: 10.1097/PEC.0000000000002648. 1.6
- 8 . Paghubasan J, Aoki Y, Tiglaio PJG, Sarmiento MJ, Tan MA, Sarsalijo MS, Aquino GJB, Comandante JDL, Santamaria EB, Takahashi K, Smith C, Ariyoshi K, Agosto LC, Warrell DA.: A case series of samar cobra, *Naja samarensis* Peters, 1861 (Elapidae) envenomation. *Toxicon* 223: 107008, 2023. doi: 10.1016/j.toxicon.2022.107008. 2.6
- 9 . Aoki Y, Kitazawa K: Variety of diagnostic challenges in atypical cat scratch disease. *J Infect Chemother* 292: 236-237, 2023. doi: 10.1016/j.jiac.2022.11.003. 1.9
- 10 . Tanaka T, Tashiro M, Ota K, Fujita A, Sawai T, Kadota J, Fukuda Y, Sumiyoshi M, Ide S, Tachikawa N, Fujii H, Hibino M, Shiomi H, Izumida M, Matsui K, Yamauchi M, Takahashi K, Yamanashi H, Sugimoto T, Akabame S, Umeda M, Shimizu M, Hosogaya N, Kosai K, Takeda K, Iwanaga N, Ashizawa N, Hirayama T, Takazono T, Yamamoto K, Imamura Y, Miyazaki T, Kobayashi Y, Ariyoshi K, Mukae H, Yanagihara K, Kita K, Izumikawa K.: Safety and efficacy of 5-aminolevulinic acid phosphate/iron in mild-to-moderate coronavirus disease 2019: A randomized exploratory phase II trial.. *Medicine (Baltimore)* 10234: 2023.10.1097/MD.00000000000034858.1.6
- 11 . Mbuyakala FD, Smith C, Han SM, Nepomuceno R, Mulholland K, Palla L, Agrupis KA, Takahashi K: Author's reply - Measles outbreak in the Philippines: epidemiological and clinical characteristics of hospitalized children, 2016-2019.. *Lancet Reg Health West Pac* 31: 2023.10.1016/j.lanwpc.2023.100696.7.6

A-d

- 1 . Aoki Y, Paghubasan J, Beronilla Uruga MG, Aquino GJB, Sarsalijo MS, Tan MA, Sarmiento MJ, Arrieta R, Tiglaio PJG, Comandante JDL, Santamaria EB, Takahashi K, Suzuki S, Smith C, Ariyoshi K, Warrell DA, Agosto LC: Snakebite in the Eastern Visayas, Philippines: A Prospective Hospital-Based Observational Study. 2023 Annual Meeting of Transactions of

A-e-1

- 1 . Iyama K, Yokoyama M, Honda T, Baba K, Akashi R, Takeno M, Maemura K: Emergency medical technicians wish to have an electrocardiogram training course and other opportunities to learn. The 87th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society : 2023.

B 邦文

B-c

1. 田島 吾郎：【熱傷】免疫応答/修飾 近年の研究から解明されてきたこと. *Intensivist* 15(2): 207-216, 2023.
2. 泉野浩生：シン・重症患者の栄養療法. 医学図書出版：2023.
3. 泉野浩生：徹底ガイド栄養療法：研修医からの質問380. 総合医学社：2023.
4. 泉野浩生：徹底ガイド栄養療法：研修医からの質問380. 総合医学社：2023.
5. 武居秀行, 磯部智範, 吉村洋祐, 広藤喜章, 永井良明, 高田健太, 富田哲也, 井出仁勇, 佐藤英介, 小林大輔, 只野喜一, 大葉 隆, 井山慶大, 橋本雄幸, 森祐太郎：放射線健康リスク科学 基礎知識図解ノート. 金原出版：2023.
6. 青木 義紘, 北澤 克彦：バルトネラ属菌. 日常診療に役立つ小児感染症マニュアル：196-202, 2023.

B-c-1

1. 田崎 修：重症患者の家族サポートに関する考え方ー厚生労働科学研究の紹介と実際の患者対応ー. 日本救急医学会九州地方会：2023.
2. 安倍 翔, 猪熊孝実, 脇山史美子, 村橋志門, 上村恵理, 太田黒崇伸, 上木智博, 泉野浩生, 田島吾郎, 山下和範, 岡 大雅, 末吉英純, 田崎 修：搬送時に診断が困難であった脾損傷に合併した仮性動脈瘤の1例. *日本外傷学会雑誌* 37(2): 200, 2023.
3. 古田彩子, 猪熊孝実, 安倍翔, 脇山史美子, 村橋志門, 上村恵理, 太田黒崇伸, 上木智博, 泉野浩生, 田島吾郎, 山下和範, 大木望, 原 貴信, 関野元裕, 田崎 修：入院後に胆管損傷が判明した多発外傷の1例. *日本外傷学会雑誌* 37(2): 191, 2023.
4. 上村恵理, 安倍 翔, 脇山史美子, 太田黒崇伸, 泉野浩生, 猪熊孝実, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修：救えなかった命の徹底討論(2) 止血および感染コントロールに難渋した体幹部外傷の1例. *日本外傷学会雑誌* 37(2): 165, 2023.
5. 太田黒崇伸, 田崎 修, 山下和範, 田島吾郎, 猪熊孝実, 泉野浩生, 上村恵理, 村橋志門：外傷医の地位向上を目指して：若手医師から学会に対する要望(1) 外傷医の地位向上のためには「外傷指導医」が必要である. *日本外傷学会雑誌* 37(2): 162, 2023.
6. 泉野浩生, 安倍 翔, 脇山史美子, 村橋志門, 上村恵理, 上木智博, 太田黒崇伸, 猪熊孝実, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修：重症外傷患者に対する急性期栄養管理 重症外傷の栄養療法における課題. *日本外傷学会雑誌* 37(2): 144, 2023.
7. 岩田真実, 泉野浩生, 村橋志門, 上村恵理, 太田黒崇伸, 野崎義宏, 猪熊孝実, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修：中枢性尿崩症に続発した塩類喪失症候群の一例. *日本集中治療医学会雑誌* 30(Suppl.1): S807, 2023.
8. 上村恵理, 村橋志門, 太田黒崇伸, 泉野浩生, 猪熊孝実, 野崎義宏, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修, 長井一浩：当院の外傷患者に対するクリオプレシピテートの使用に関する検討. *日本集中治療医学会雑誌* 30(Suppl.1): S788, 2023.
9. 村橋志門, 上村恵理, 安倍 翔, 脇山史美子, 上木智博, 太田黒崇伸, 泉野浩生, 猪熊孝実, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修：クロルフェナビル中毒により急速にCPAに陥った一例. *日本臨床救急医学会雑誌* 26(3): 350, 2023.
10. 泉野浩生, 田崎 修, 村橋志門, 宮本俊之, 松島加代子, 浜田久之：初期研修医のための実践的かつ五感で学ぶ栄養教育. *医学教育* 54(Suppl.): 207, 2023.
11. 山田裕美子, 山口拓允, 松田尚樹, 宇佐俊郎, 山下和範, 田崎 修：原子力災害医療領域の人材育成に係る課題と今後の教授内容の探索. *日本放射線看護学会学術集会講演集* 12回: 83, 2023.
12. 村橋志門, 猪熊孝実, 竹田昭子, 上村恵理, 上木智博, 太田黒崇伸, 泉野浩生, 田島吾郎, 山下和範, 田崎 修：感染症のスクリーニング検査が臓器提供の日程に影響を与えた1例. *移植* 58(総会臨時): 251, 2023.
13. 田島吾郎, 村橋志門, 上村恵理, 三浦深雪, 池松和哉, 田崎修：トランスクリプトーム解析を用いた遺伝子発現パターンによる熱傷と感染の病態判別. *熱傷* 49(4): 38, 2023.
14. 田島吾郎, 村橋志門, 上村恵理, 三浦深雪, 池松和哉, 田崎修：トランスクリプトーム解析を用いた全身性炎症モデルの病態判別. *日本救急医学会雑誌* 34(12): 886, 2023.
15. 猪熊孝実, 上園瑛子, 村橋志門, 上村恵理, 上木智博, 太田黒崇伸, 泉野浩生, 田島吾郎, 山下和範, 平尾朋仁, 永川寛徳, 原貴信, 井上悠介, 高村敬子, 弦本敏行, 谷村政道, 小森由紀子, 柴田久美, 江口 晋, 田崎 修：Cadaver外傷手術トレーニングによる若手教育. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 13(Suppl.): 120, 2023.

16. 藤田あゆみ,柿内聡志,田代将人,田中健之,芦澤信之,井手昇太郎,古本朗嗣,田崎修,泉川公一:長崎大学病院救命救急センターにおける血液培養陽性例の検討. 日本救急医学会雑誌 34(12): 887, 2023.
17. 西 哲史,青木義紘,上原裕規,立川温子,菅原大輔,塚本 裕,高橋健介,渥美智晶,山野修平,早川航一,田崎 修: Enterococcus hiraeによる敗血症で化膿性脊椎炎と急性腎盂腎炎を合併した一症例. 日本救急医学会雑誌 34(12): 909, 2023.
18. 山野修平,立川温子,菅原大輔,塚本 裕,青木義紘,高橋健介,渥美智晶,早川航一,田崎 修: 救急医によるACP普及活動における考察. 日本救急医学会雑誌 34(12): 859, 2023.
19. 早川航一,立川温子,塚本 裕,菅原大輔,青木義紘,高橋健介,山野修平,渥美智晶,田崎 修: 搬送困難事例に対する救急一時収容機能の取組みについて. 日本救急医学会雑誌 34(12): 859, 2023.
20. 柏木杏奈,泉野浩生,上園瑛子,村橋志門,上村恵理,上木智博,太田黒崇伸,猪熊孝実,田島吾郎,山下和範,田崎 修: 救命しえなかった電撃型脂肪塞栓症候群の一例. 日本救急医学会雑誌 34(12): 912, 2023.
21. 上村恵理,脇山史美子,村橋志門,上木智博,太田黒崇伸,泉野浩生,猪熊孝実,田島吾郎,山下和範,田崎 修: 外傷患者に対するクリオプレシペートの使用に関する検討. 日本救急医学会雑誌 34(12): 735, 2023.
22. 猪熊孝実,脇山史美子,上園瑛子,村橋志門,上村恵理,上木智博,太田黒崇伸,泉野浩生,田島吾郎,山下和範,田崎 修: ワイヤレスカメラ付きヘッドライトからの映像を用いた気管切開術の教育. 日本救急医学会雑誌 34(12): 713, 2023.
23. 田崎 修,早川航一,山下和範,田島吾郎,山野修平,井山慶大,猪熊孝実,泉野浩生,太田黒崇伸,上木智博,上村恵理: 丘陵地域における院外心停止(OHCA)の現状と課題 長崎医療地域の10年間のウツタインデータ解析より. 日本救急医学会雑誌 34(12): 703, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	2	5	38

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田崎 修・教授	編集委員会	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	AMLS第3版編集委員会 委員	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	長崎県災害医療コーディネーター	長崎県
田崎 修・教授	長崎県医師会循環器病等検討委員会	長崎県医師会
田崎 修・教授	長崎県医師会定款・諸規則検討委員会委員	長崎県医師会
田崎 修・教授	メディカルコントロール協議会検討委員会委員	長崎県
田崎 修・教授	理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	利益相反管理委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	個人情報保護委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	学会主導研究評価特別委員会 担当理事	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	JPTEC九州
田崎 修・教授	転院搬送ガイドライン検討委員	長崎地域メディカルコントロール協議会
田崎 修・教授	地方会活性化特別委員会	日本救急医学会
田崎 修・教授	学術集会の在り方検討特別委員会 委員	日本救急医学会
田崎 修・教授	代表理事	長崎救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会九州地方会
田崎 修・教授	Associate editor	日本救急医学会 Acute Medicine & Surgery
田崎 修・教授	評議員	日本熱傷学会
田崎 修・教授	評議員	日本外傷学会

田崎 修・教授	評議員	日本救急医学会
田崎 修・教授	評議員	日本臨床救急医学会
田崎 修・教授	編集委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	資格試験作成委員会 委員	日本外傷学会
田崎 修・教授	保健医療対策協議会救急医療対策部会 委員	長崎県
田崎 修・教授	緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員長	長崎県
田崎 修・教授	ドクターヘリ運航調整委員会 委員	長崎県
田崎 修・教授	メデイカルコントロール協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	移植医療推進協議会委員	長崎県
田崎 修・教授	長崎医療圏病院群輪番制審議会委員	長崎市
田崎 修・教授	長崎市地域医療審議会委員	長崎市
山下和範・准教授	理事	日本救護救急学会
山下和範・准教授	評議員	日本災害医学会
山下和範・准教授	評議員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	多職種連携推進委員会 委員長	日本災害医学会
山下和範・准教授	産学連携新技術検討推進委員会 委員	日本災害学会
山下和範・准教授	蘇生医療検討委員会 委員	日本蘇生学会
山下和範・准教授	管理世話人	日本災害医学会地域保健・福祉の災害対応標準会トレーニングコース
山下和範・准教授	インストラクター	日本DMAT
山下和範・准教授	災害医療コーディネーター	長崎県
山下和範・准教授	長崎市防災会議 委員	長崎市
山下和範・准教授	長崎県災害医療検討委員会 委員	長崎県医師会
山下和範・准教授	認定ロジ	日本災害医学会ロジスティックス専門家
山下和範・准教授	理事	医療コンテナ推進協議会
山下和範・准教授	委員	長崎県医師会災害委員会
猪熊孝実・助教	評議員	日本Acute Care Surgery学会
猪熊孝実・助教	評議員	日本外傷学会
猪熊孝実・助教	九州支部評議員	日本消化器病学会九州支部
猪熊孝実・助教	評議員	日本腹部救急医学会
泉野浩生・助教	SMAQ（学生・研修医部会）運用特別委員会 委員	日本救急医学会
泉野浩生・助教	日本版重症患者の栄養療法ガイドライン検討委員会（AdHoc） 委員	日本集中治療医学会
泉野浩生・助教	会則委員会 委員	日本Acute Care Surgery学会
田島吾郎・准教授	スキンバンク委員会 委員	日本熱傷学会
高橋健介・助教	国境なき医師団・日本支部 理事・副会長	国境なき医師団日本
太田黒 崇伸・助教	評議員	日本外傷学会
井山慶大・講師	原子力災害対応特別委員会 委員	日本救急医学会
井山慶大・講師	被ばく医療研修認定委員会 委員	原子力規制庁

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
田崎 修・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析」
田崎 修・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築」
田島吾郎・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築」
田島吾郎・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析」
高橋健介・助教	日本学術振興会	代表	細菌毒素の病原性における宿主因子GILTの働きに関する基礎および臨床研究
上村恵理・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「単球・マクロファージおよびミクログリアの動態からみた中枢神経障害の病態解析」
上村恵理・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「トランスクリプトーム解析から展開するパターン認識を応用した病態解析法の基盤構築」

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
井山慶大・講師	非常勤講師(救急医学概論)	福島県立医科大学医学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
田崎 修・教授	全国1000例 臓器提供 県内の現場	長崎新聞	2023年11月10日	長崎大学の臓器提供の状況について説明を行った。
田崎 修・教授	講座クローズアップ 長崎大学病院高度救命救急センター	九州医事新報	2023年12月20日	救命救急センターの活動について説明を行った。